



七月十三日(水)に高松市学校職員協議会が高松市教育委員会との要望活動を行った。参加者は那須高教会長、木下高学教副会長、辻高学教事務局局長の三名。現場の先生方が、子供達と向き合えたり、教材研究ができたりする時間を確保しようと業務改善につながる内容を中心に要望した。

●就学援助や特別支援教育就学奨励費、そして教科書受領システム、給食マイスターに関わる分掌を教員が行わなければならない根拠や負担を小さくする見直しについて問うと「教員が行っている学校が多いことや、それによる負担が教育活動に費やす時間を増やせない要因となっていることなど、課題は承知しており、市でできることとできないことを検討しながら改善につなげたい。」と大変前向きな回答を得ることができた。その上で、高学教側から現場の声として、減らせる手順や負担過多(困っている)ことなどをあげていく(聞いてくださる)ことを確認した。

●保健室や校外学習における人手不足に関しても、課題を共通理解し、改善に向けて検討・努力していくことを確認した。しっかりと会員の声を伝える事ができたと自負している。これからも評議員会やアンケート等で、現場の声を集約に努め、改善につながる要望をしていきたい。

# 退職予定者セミナー開催



## 定年延長は令和5年4月から

香教連新聞4月号でお知らせしました。定年延長ですが、令和5年4月より開始となる見込みです。

退職金や給料がどうなるのか？  
役職定年制は導入されるのか？  
再任用はできるのか？  
など、まだはっきりと決まっていないこともあります。正式に決定次第、香教連新聞にてお知らせしたいと思います。

上記の退職予定者セミナーでも話題になりましたが、会員の方で、見通しが持たなくて将来に不安があったり、疑問があったりしたら、何でもかまいません。香教連までお知らせ下さい。香川県教育委員会とのパイプ役でもあります。会員の皆様にも少しでも安心してもらえるよう努めて参ります。



質問はQRコードから→

7月 業務抄	
1日	教育セミナー
9日	第2回中堅教員研修会
12日	高学教 評議員会
14日	県教育委員会定例会
19日	全日教連本部役員会
20日	綾歌教職員会 定期大会
22日	丸教協 評議員会
26日	仲善教協 定期総会
29日	全日教連 執行委員会
30日	全日教連 教研大会
31日	栃木大会

8月 業務抄	
5日	幼児教育部研修会中止
5日	香川県モラロジー協議会 第59回道徳教育研究会
6日	第3回中堅教員研修会
10日	県教委定年延長についての説明会
11日	第4回採用試験対策部研修会
	第4回中堅教員研修会
12日	退職予定者セミナー
18日	全日教連 リーダー研中止
19日	大教協 東かがわ市教委要望

自走する集団作り 導

復活門へ... 長尾健司

26日 大教協 さぬき市教委要望 第2回会長・局長会

## おすすめの1冊！

夏の甲子園、高松商業ベスト8！県大会予選から、浅野選手のホームランが目撃されていました。しかしながら、采配をふるう長尾監督のベンチでの表情、声かけ、試合後のインタビューにこの夏何度も感動を頂きました。

もうお読みになった方も多いと思います。今年7月に発刊されています「導く力」-自走する集団作り- (長尾健司)

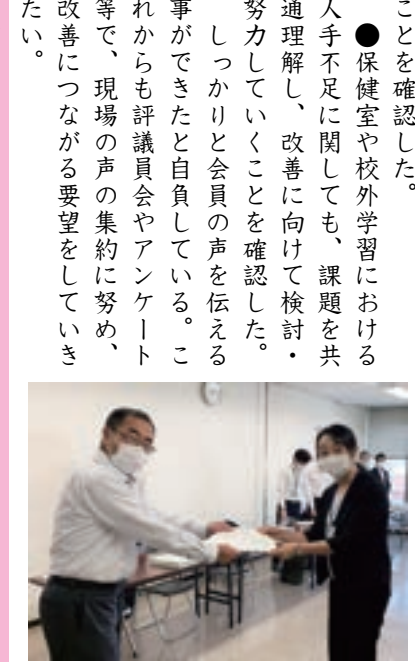
高校野球ファン、長尾ファンだけでなく、いろいろな立場で読んで人の心を長尾先生の言葉がギュッと心に染み込んでくること間違いなしです。

「やらされる3時間より自らやる30分」「失敗と書いて成功と読む」などなど、教師として普段子どもたちに接している立場であるが故に心に響く内容がぎっしりです。おすすめの1冊です。

定年延長に関する質問を受け付けています。給料は？退職金は？手当は？ いったいどうなるの？ 何でもかまいません。下のQRコードを読み取って送信して下さい。抽選で素敵なプレゼントをお送りします。



7月の「会員の声」に応募して下さいました。下記の方にプレゼントが当たりました。 HTさん(小・丸亀) MNさん(小・高松) TKさん(中・坂出) 以上3名の方に図書カードをお送りします。



## 高松市学校職員協議会 高松市教育委員会と要望活動



八月十一日(木)香川県教育会館にて、午前の部・午後の部と二回に分けて、第四回採用試験対策部研修会を開催した。新型コロナウイルス感染症の対策を十分に行いながら各グループをできるだけ少人数で構成した。 最初に香川大学の谷口先生から、「ここまでできたら何としても合格するんだ。教員になるんだという強い気持ちが大切です。細かいテクニクはあっても、皆さんは日々学校で子どもたちと一緒に生活し、授業をしている強みがあります。自信を持って模擬授業に取り組んで欲しいです。不安であれば、何度でも繰り返し練習をしましょう。明るい表情で！」と受講されている講師の先生方に挨拶された。 集まった一次試験を通過した人たちは、緊張した面持ちで与えられた課題に、一〇分で構想し、一〇分で授業を行う模擬授業に取り組んだ。普段学校で授業をしているが、一〇分で見せる授業を構想するのはなかなか難しく、上手く最後まで展開できない人が多かったが、この研修会で経験したことが、本番で生かされることを願うばかりである。

## 第四回採用試験対策部研修会